

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立松山工業高等学校
学校番号 25

評 価 実 施 日		平成31年2月14日（木）	
委 員	氏 名	所 属 等	備 考
	菊池 伸英	同窓会会長	
	大北 謙治	前同窓会会長	
	柘田 真興	P T A会長	
	日野 繁	株式会社 和泉モータース	
	松崎 秀	株式会社 伊予鉄グループ 人事課長	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <p>タブレットの活用についての評価が低い。昨年から、学校一丸となって取り組んでいることだが、なぜ活用が進まないのか。また、タブレットの活用は、目標ではなく、当たり前のことではないのか。</p> <p>タブレットは、1年生全員が持っていると言うことだが、教員の保有率はどうなっているのか。</p> <p>(2) 生徒指導</p> <p>交通事故が、今年度も22件起っているが、事故の分析は行っているのか。子供達の命を守るために、事故原因を確認して、事故0を目指した指導をお願いします。</p> <p>スマートフォンでの被害はないのか。情報セキュリティ教育を充実させ、危険性を理解させないといけない。</p>	<p>・ 5月に1年生にタブレットを配布し、活用してきた。当初は、座学中心であったが、研修を重ね、実習や部活動での活用も増えてきた。評価は、年間の数値に対してのもので、12月以降は、100%に近い数値がでている。来年度は、高い活用率の数値がでる。</p> <p>・ 校内で教員が使うタブレットは、それぞれの個人負担になっており、全員には強制できない。数名の者が持っていないが、直接授業を行う教員は全員所持している。</p> <p>・ 事故報告書を提出させ、分析を行っている。夕方の暗くなり始めや交差点での事故が多い。また、事故原因が、相手側にあるものが、半数を超えている。事故の具体的事例をもとに交通安全指導を行い、ヘルメット着用を徹底させることで、加害事故、被害事故の両方を無くすように取り組む。</p> <p>・ 5月に外部講師を招いてネットモラル学習講演会を行っている。また、警察署の職員からネット被害の事例も教えていただくような機会を設けている。ホームルーム活動でも取り上げているが、情報セキュリティ教育を更に充実させる。</p>

(3) 進路指導

元担任による就職先訪問で、仕事がつらい時期を乗り越えられたという話を聞くことがある。就職後のアフターケアを行わないといけない。

・現在も企業訪問を行い、企業との連絡を密にするなど取り組んでいるが、卒業後も学校に相談できる体制を確保し、ケアに努める。

(4) 特別活動

適切である。

(5) 工業指導

適切である。

(6) 人権・同和教育

いじめ0という目標に対して、評価がAではない。いじめがあったということか。

・人間関係による小さなトラブルも含めているので、評価をBにした。教職員には、「常にいじめはある」という認識で、生徒の変化を見逃さないように今後も取り組ませる。

(7) 環境整備

適切である。

2 重点目標について

適切である。

3 説明・公表について

ホームページ資料を印刷しようとしてもきれいに印刷できないことがある。改善するとよい。

・印刷し使用することを目的とした資料と、ホームページで確認してもらうことを主とした資料がある。ホームページで見やすくするために、規格の用紙設定になっていないものもあるので、見やすさを確保しつつ、印刷できるようにする。

4 学校運営への提言

取り組みの成果が出ており、立派な学校であることは分かる。しかし、その裏には、いろいろと苦労されていることもあると思われる。その話も聞かせてもらいながら、我々委員も学校運営への協力をしたい。

・次年度の学校関係者評価委員会では、取り組みで苦労した点や、問題点などが分かるような資料作成を行う。

学校関係者評価委員会の結果が、次に続く学校評議員会に生かされないといけない。

・学校関係者評価委員会の内容は、学校評議員会で報告をする。「松工の仲間」という立場での学校関係者評価委員会と、「外部の第三者」という立場での学校評議員会、それ以外にも機会を捉え、多方面の意見を伺いながら学校運営を行う。